

LB0684

動作確認チェックシート

検査日	2026年 1月17日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	加圧脱泡装置	電源電圧	単相200V. 19A	圧力範囲	0～0.6MPa
型式	NPBD-9010-II	周波数	50/60Hz	有効内容積	約570L (φ840×1020mm)
メーカー名	チヨダエレクトリック(株)	大きさ(W×D×H)	1400×1795×2150	加熱時間	30⇒60℃ 約30分
機械Ser.No	17050389	圧力容器の種類	第二種圧力容器	加圧/排気時間	約8分/約5分
製造年月	不明	温度制御範囲	室温+10～70℃	重量	約1,000kg

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○
6 データバックアップ	PLC (済) TP (済) BT交換 (未)	

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

1 チャンバー内は前ユーザによるサンプルセット用の架台が設置されているため、標準仕様の棚(W650×L1000mm)は現状では使用できない。

2 立上げ及び非常停止動作問題なし。

3 (1)マニュアル運転:『T→Pモード、30℃、0.5MPa、5分処理』設定で確認。問題なし。

(2)自動運転:『①50℃、0.5MPa、5分処理 ②70℃、0.6MPa、10分処理』のステップ処理(レシピ1)を作成し確認。

動作問題なし。

※ タッチパネルに表示される圧力値(圧カトランスミッター)に対し、内筒圧力計(ブルドン管式圧力計)は若干低い。
精度的には圧カトランスミッターのほうが信頼できるため、問題ないと考える。



チャンバー内

取扱説明書(有)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者
2026年1月14日	処理終了後、クラッチリングのストッパが解除されないため、『扉開放』を押すとエラーになる。SV12の電磁弁(SMC製 SY3140-5FU)不良。電磁弁交換(代替品SY3140-5L0Z)で正常に復帰。	野沢

SHIRASAGI入力

(備考欄コメント)

[責任者]

動作(OK) 作業工数[9.0h]

稼働 22,088h

検査担当者[野沢]



装置内部



排気ロサイレンサ



棚板



自動運転 50°C, 0.5MPa, 5分処理中



自動運転 70°C, 0.6MPa, 10分処理直後



自動運転 処理完了時



設定0.5MPa, タッチパネルの表示は0.50MPa



設定0.6MPa, タッチパネルの表示は0.60MPa